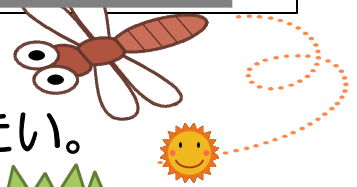


”指示されたことの一步先”へ 進む力をつけさせたい。



2学期がスタートしました。この時期は、「スタートする」「新しく始まる」というエネルギーの力を借りて、大人も子どももチャレンジしやすい時期です。諸富中の生徒は、やらなくてはならないこと、たとえば規則や指示に、素直にきちんと従うことができる人が多いです。これは学校全体にしてみれば強み(長所)であり、今学校が落ち着いて教育活動ができているのは、まさにこのおかげです。

では、このままの状態ですら十分満足なのか？という、答えは違います。「言われたことだけやる」「言われたことしかやらない」このような人は、今の中学生が大人になったときには、A I に仕事を奪われてしまいます。指示に従って完璧に作業をするのはA I の最も得意とするところですから、その部分で競っても勝ち目はありません。基礎的・基本的な知識や技術を習得するのはもちろんですが、そこで満足せず、A I にはできないこと、A I が苦手なこと、人にしかできないことについて、力をつけておく必要があります。

それは何か？学習面で言うと、国語力、読解力、表現力などに関する力だと思います。また、行間を読んだり、文脈から推測したり、同じ意味のことを違う表現をしたりなど、コミュニケーションに関わる力も大切です。ですが、一番大切なこと、一番これからの時代を生き抜くために必要な力は「課題発見能力」ではないかと思います。激しい社会変化に対応し生き抜くには、与えられた課題を解決するだけでは足りません。「今、何が問題なのか？課題なのか？何をすべきなのか？」に気づくには、疑問を持つ力が鍵を握ります。まずはいろいろな場面で「なぜこの練習をするのだろう？」「どのような効果があるのだろう？」「この学習内容を活かす場面はどこだろう？」と「なぜ？」を持ってほしいと思います。そして答えを得るための手段、方法を考え行動する大人になってほしい！と切に願います。



やらねばならぬことにきちんと取り組み、さらに一步先の、やった方がよいことに向かって行動する、予測不能な窮地に陥ったときでも、今までの経験知を活かして乗り切る、常によりよく生きる努力をする大人。中学生がイメージできるよう、そんな姿を教育や子育てに関わる大人は、大人の責任として、見せてあげるべきだと考えます。



武雄・大町方面の洪水被害…その時何を？



「今まで、こんなにひどい洪水になったことがない。」とのコメントや、町が冠水して湖のようになっている風景が全国版ニュースで流れるほど、今回の大雨は大きな被害をもたらしました。そのような中、夏休みの最後の休みを使って武雄・大町方面に災害復旧のボランティアに参加した諸富中生がいることを知りました。

暑い、汚い、臭い、きついなどの悪条件の中で、自分のやれることを一心にやった人たちを、本当にすごいと尊敬します。できない理由といいわけを考える前に、できるために何をするかを考える生き方をしたいと、ボランティアに参加した保護者さんと生徒たちから学びました。



緊急メールの受信できていますか？



先日の緊急メール(さがんメール)が届かずに、8/29(木)の朝、部活動にきている生徒がいました。幸いその日は、それ以上天候が崩れなかったので危険はなかったのですが、これが平日で休校を知らずに登校…となると、安心・安全が守れなくなります。学級を通して今、緊急メールの登録確認をしています。できれば、一家庭で複数名の登録をお願いします。

※右のQRコードからアクセスできます。または、担任からプリントをもらって登録してください。



sbss.jp



9月の主な行事予定



日	曜日	行 事
2	月	2学期始業式
3	火	給食開始
5	木	読み語り
7	土	土曜授業 夢づくり講演(フカキヨさん講演会)
9	月	教育実習開始 ～20日(金)まで
11	水	前期期末テスト開始 ～13日(金)まで ※13日部活動開始
15	日	県下一斉部活動休養日
25	水	2年生 職場体験 ～26日(木)まで
27	金	佐賀市駅伝大会

※ スケッチ会 10/5 フリー参観デー 10/10 ふれあい道徳 10/10